

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	かさでら図書館運営委員会！	
まちづくり活動名	つなげたい！ 人×本×まち	
活動地域	南区笠寺町周辺	
活動の背景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） 町の本屋さんが減少し本に触れる機会が減ってきています。素敵な本との出会いの場を作りたい、本を介して人と人・人と地域をつなぎたい、そんな思いを持って令和3年度名古屋都市センター主催講座『本を扉にしてまちへ出よう』を受講しました。そこで得られた多くの学び・出会い・ご縁が、笠寺の町に「私設図書館」を作ろう！というきっかけとなりました。	
目的・目標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください） ■ 目的 気軽に本に触れられる場所、人と人・地域がつながる場所、心安らぐ居場所を作る。 ■ 目標 読書会やワークショップなど各種イベントを開催し、地域の多くの人たちに図書館という場を活用してもらう。 今年度は、特に地元の高校や中学校の図書館及び生徒との交流を行う。 ■ 成果 多くの人々が本と出会い、図書館が地域のコミュニティの場として活用され、まちの賑わいへとつながる。 特に普段本に触れる機会の少ない中高生に、本を読むきっかけづくりの一助となる。	
活動内容	（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。） ・ 地域の名所である笠寺観音の参道という立地を活かし、笠寺観音の行事に合わせて古本市や読書会などを企画し、広く利用者を増やす。 ・ 図書館の本棚を一つ借りて自身のお薦め本を並べることができる「一箱本棚オーナー」を募集し、地域の人だけでなく地域外の人にも積極的に図書館に関わってもらう。 ・ 上記オーナーさんの交流会を定期的で開催し、人と人のつながり、人と地域とのつながりが広がる場とする。 ・ 地域の人に図書館という場を利用してイベント出店等をしてもらい、地域の賑わいの場とする。 ・ 地域外で開催される本のイベント等に出店し、かさでら図書館を多くの人に知ってもらい、地域への集客を図る。 ・ 地元にある高校や中学の図書館の教員との情報交換等を行い、学校の図書委員や文芸部などの生徒たちとの交流を深める。	
活動予定期間	令和 6 年 6 月 ～ 令和 7 年 2 月	
助成金交付申請額	100,000円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性

- ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か
- ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か
- ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か
- ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か

(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・図書館という誰もが気軽に入ることができる場所で、居合わせた人と本の話をしたり、絵本の読み聞かせやワークショップなどのイベントに参加したりしながら、地域のコミュニティの場として活用してもらえる。
- ・小さなお子さんからご年配の方まで年齢を問わず、本と出合える場、人との交流の場が必要とされている。
- ・昨年度図書館運営を行う中で、ご高齢者やハンディキャップのある方々が地域で気軽に自己表現ができる場として、図書館が必要とされていることが分かった。
- ・一方、中高生の利用者が極端に少ないこともわかり、今年度は中高生への働きかけを行いたい。
- ・昨年度の活動を通して広がった地域交流をさらに深め、魅力あるまちづくりを目指す。

審査基準② 実現性

- ・活動内容が具体的になっているか
- ・活動内容の資金計画などは妥当か
- ・人員や規模などは妥当か

(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・開館から1年4か月ほどが経ち、図書館利用登録者数が210名を超え、その多くが地元地域の方々であり、地域への認知度も大きくなってきている。
- ・ワークショップや交流会なども徐々に参加者が増えてきており、参加者同士の交流の場面が多くみられるようになってきている。
- ・一箱本棚オーナーに、ご高齢者やハンディキャップのある方も複数名おり、生きがいの場となっているとの感想をいただいている。
- ・「本の交換会」と称し、本の交換箱を軒先に設置し、もっと気軽に図書館を利用できる企画を実施する。
- ・利用者の中には教員等学校関係者も少なくない。地元の高校や中学の図書館を通しての交流にも高い関心を持っていただいております。情報交換等を始めつつある。
- ・昨年度古本市、読書会、交流会、ワークショップなど定期的に開催することができた。今後も継続して実施できると考えている。
- ・中高生向けワークショップの企画や、地域内外との交流を深める講演会の企画などを実行するための資金計画となっている。

審査基準③ 発展性

- ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
- ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか

(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)

- ・笠寺観音参道という立地を活かし、笠寺観音の行事や地域のお祭り等に積極的に参加し、さらに地域への周知、認知度の強化を図ることにより、本のみならず交流の場としての利用者を増やす。
- ・図書館での交流から生まれる新たなイベント等企画により、地域に新しい賑わいをつくる。
- ・老若男女、大人も子どもも、ハンディキャップのある人も、皆が隔たり無く交流のできる場をつくる。
- ・高校や中学の図書委員・文系部などの一箱本棚を作り、生徒たちが本に触れるきっかけづくりを後押しし、本のファンを増やす。
- ・現在シャッター街となっている商店街に、新店舗の開店等まちの活性化のきっかけになることを期待している。

- 3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
・ 笠寺商店街振興組合	組合主催の地域のお祭りに参加します R6. 8. 8-9 九万九千日盆マルシェ等参加予定
・ かねでら MONZEN 亭 （名古屋市地域まちづくり活動団体）	地域情報を発信している新聞に掲載いただきます
・ 南区役所区政部（地域力推進室）	南区のまちづくり行政への関わり等について 相談をします

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2024	4	交流会 イベント告知（毎月発行）	一箱本棚オーナーさんの交流会を開催 ワークショップ等案内チラシ配布等周知
	5	読書会（定期開催） ワークショップ	読書会の開催 アート体験ワークショップの開催
	6	交流会（定期開催） ワークショップ	一箱本棚オーナーさんの交流会を開催 工作ワークショップの開催
	7	読書会（定期開催） ワークショップ	読書会の開催 交流用本棚づくりワークショップの開催
	8	古本市 本の読み聞かせ 交流会（定期開催） ワークショップ	笠寺観音九万九千日に合わせ図書館前で古本市の開催 夏休みの子ども向けに本の読み聞かせを開催 一箱本棚オーナーさんの交流会を開催 読書体験ほかワークショップの開催
	9	読書会（定期開催） ワークショップ 本の交換会	読書会の開催 創作体験ワークショップの開催 本を持ち寄り交換会を開催
	10	交流会（定期開催） 紙芝居の会 ワークショップ	一箱本棚オーナーさんの交流会を開催 子ども向けに紙芝居の上演 読書体験ほかワークショップの開催
	11	イベント参加 読書会（定期開催） ワークショップ	広報及び交流のため本に関するイベント参加 読書会の開催 創作体験ワークショップの開催
2025	12	講演会 交流会（定期開催） ワークショップ	絵本作家さんによる講演会の開催 一箱本棚オーナーさんの交流会を開催 クリスマスのためのワークショップの開催
	1	読書会（定期開催） ワークショップ	読書会の開催 創作体験ワークショップの開催
	2	古本市 交流会（定期開催） ワークショップ	笠寺観音節分祭に合わせて図書館前で古本市の開催 一箱本棚オーナーさんの交流会を開催 創作体験ワークショップの開催
	3	イベント参加 読書会（定期開催） ワークショップ	広報及び交流のため本に関するイベント参加 読書会の開催 創作体験ワークショップの開催

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内 訳・算出根拠	金 額 (円)		
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000		
活動経費の内訳	消耗品費	古本市、 ワークショップ	コピー用紙	3,000		
			ブックエンド	1,000		
			ハレパネ（A4×10枚）	6,000		
			色コピー用紙	5,000		
			ペン、マスキングテープ、両面テープ	2,000		
			スケッチブック	1,000		
			バインダー	300		
			読書会	読書会の茶菓子代（750円×4回）	3,000	
			紙芝居の会	紙芝居参加の子どもの菓子代	1,000	
			交流用本棚作り ワークショップ	ワークショップ参加者茶菓子代	1,000	
	物品費	交流用本棚作り ワークショップ	板等材料費	5,000		
			本の交換会	折りたたみテーブル（5,000円×1台）	5,000	
			ワークショップ	テーブルクロス	2,000	
			紙芝居の会	紙芝居用舞台	5,000	
			印刷製本費	イベント告知	開催案内チラシ作成印刷代 （120枚/月×9か月分）	43,000
			謝金	講演会	外部講師への謝礼（1名）	10,000
交通費	講演会	外部講師の交通費	2,000			
通信運搬費	イベント告知	開催案内チラシの発送（ゆうパケット 310円×2カ所×9回）	5,580			
支出合計				100,880		

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。